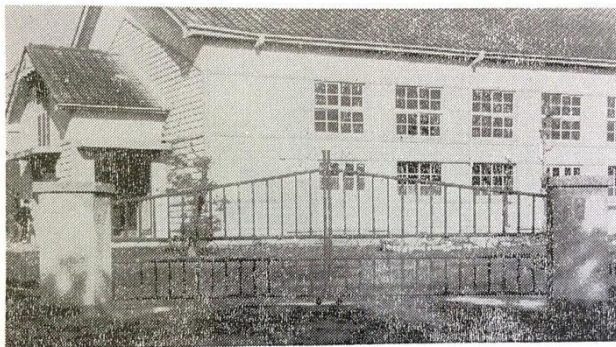


がくじ
学而門について



卒業生寄贈 「学 而 門」

勉学に熱心だった卒業生の心を象徴する

記念として立派に完成した。

扶中新聞第41号より（昭和43年3月15日発行）

門の後ろの建物は、以前この場所にあった扶桑町立中央公民館です。

扶桑中学校には、「学而門」と名前がついた門があります。

第21回卒業生（昭和42年度男子105名、女子103名、計208名）の卒業記念として、昭和43年3月14日 建造されました。

第四代校長 仙田 正 先生（昭和41年4月1日～昭和44年12月30日在任）が、昭和42年度の卒業生が大変勉学に励んだ生徒だったことから、論語「学而第一」より命名した門です。

< 論語 >

漢文	読み仮名	現代語訳
子曰 學而時習之 不亦説乎 有朋自遠方來 不亦樂乎 人不知而不慍 不亦君子乎	しいわく まなびてときにこれをならう またよろこばしからずや ともあり、えんぼうよりきたる またたのしからずや ひとしらずしていきどおらず またくんしならずや	孔子が言った 学んだことを復習するのは 喜ばしいことだ 友人が、遠くから訪ねてくれるのは 楽しいことだ 他人に理解されなくても気にしないのは立派なことだ